



「港区産業団体連合会」の 発展に向けて

港区長 武井雅昭

このたび、港区長に就任しました武井雅昭でございます。

港区産業団体連合会は、「港区工業団体連合会」として、昭和40年に発足し、これまで港区の工業を支える中心的な担い手として、中小企業振興施策に対し、多大なるご理解、ご協力をいただいております。本年5月の総会では、工業以外の様々な産業から会員を集め、港区の産業全体を支える団体へと更なる拡大を図るため、名称を「港区産業団体連合会」へと変更されました。新たな事業や広報活動を中心に活発に活動されていると伺っております。

さて、経済状況に光が見えてきたとはいえ、区内中小企業は依然厳しい環境の下にあり、景気が上向いて

いるとは、未だ実感できない状況にあると認識しております。私は、地域経済を支える中小企業に対して、中小企業融資の充実や人材育成への支援など、事業者の協力が実を結ぶ支援策を展開するとともに、産業振興にかかわる情報提供及び相談機能を充実して参ります。そして、区民に信頼される区政運営、区民の身近にある区政運営、区民の誇りを創造する区政運営、を基本姿勢とし、『区民の誰もが誇りに思えるまち・港区』を実現してまいります。

最後に、港区産業団体連合会の益々のご発展と、坂東和男会長をはじめ、会員の皆様のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、私のあいさつといたします。

「見よう 魅せよう みんなの港」

第8回「港区産業文化展」へ積極参加

3年に1回開かれる港区最大のイベント「第8回港区産業文化展」は、「見よう 魅せよう みんなの港」をメインテーマに、平成16年10月22日(金)から24日(日)の3日間、浜松町駅に近い都立産業貿易センターで開催が決まっていますが、わが港区産業団体連合会でも、このイベントに積極的に参加すべく、事業企画委員会を中心に展示内容を中心として準備が進められています。

産業文化展は、港区内の商工業の紹介と、各業種間の交流促進により、港区内中小企業の振興発展を目的として開催されるもので、今年は14団体の参加が決まっている。

産団連としても、すでに産文展実行委員のメンバー

として、運営委員にも参加していますが、産団連としては、6月1日から、従来の「工団連」に代わり、「産団連」の名称で初参加しているため、展示会に寄せる抱負と期待には、従来と異なった盛り上がりを見せています。

現在のところ展示内容としては、(1) IT何でも相談室(2) デジカメランド(3) トクトク農産物フェア(4) ねじ切り体験コーナー(田谷螺子製作所)などが候補に上がって、最終的なつめを急いでいるところです。

「産団連」としては、新名称PRの絶好の機会でもあり、産団連一丸となつての協力と奉仕が期待されています。